

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

岡山県地方独立行政法人玉野医療センター たまの病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド訓	救臨輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	14,033	非該当	非該当	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
140	50	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	190
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
140	44	184

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の業務・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

令和3年度に地方独立行政法人制度の下、玉野市民病院と玉野三井病院と1法人2病院体制で経営統合し、令和7年1月に2病院を1病院に統合・再編し、たまの病院が開院している。当院では玉野市民病院と玉野三井病院の診療機能を引き継いでおり、救急医療や小児医療を始めとする不採算医療を担い、地域急性期及び回復期から慢性期までケアミックス型の病院として地域における中核医療機関の役割を担っている。また、同一医療圏内には高度急性期機能を持った多数の病院が設置されており、高度治療を終えた方が地元に戻って安心して療養できる場所として、バックベッドの役割も担っている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

地域の医療需要の将来の推計や近隣の医療資源の状況から、持続可能な経営に最適な病床規模を190床としてたまの病院の運営を開始している。地域医療連携を推進し、救急医療の受け入れを積極的に行うことで、病床利用率は全国平均を大きく上回る90.9%となっており、効率的な病床運営を実施している。

### 2. 老朽化の状況について

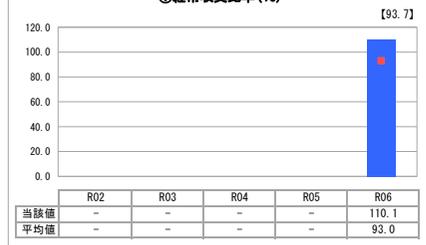
当院は令和7年1月に開院した際に、建物を新築更新し、診療に使用する機械備品の大半を更新しているため、全国平均と比べて良好な状況となっている。

## 全体総括

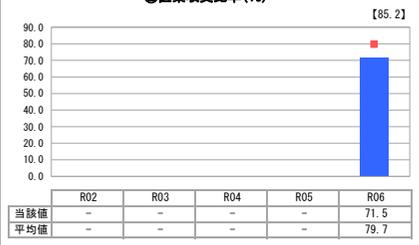
救急患者の受け入れを積極的に実施するとともに、地域の医療機関との連携を推進し、患者の紹介・逆紹介に取り組んだことで、病床利用率は高位を維持している。持続可能な経営を実施するためにはさらなる収益の確保が必要となるが、施設基準の見直しなど外来・入院患者の診療単価の向上を図っていく。

## 1. 経営の健全性・効率性

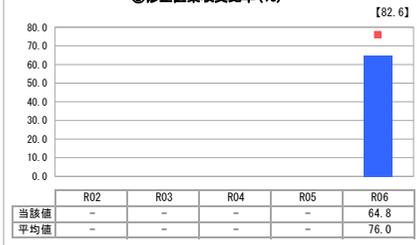
①経常収支比率（%）



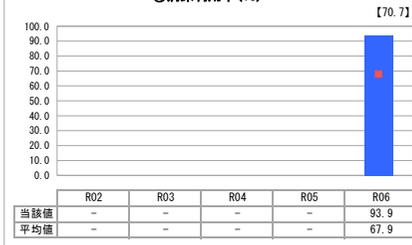
②医療収支比率（%）



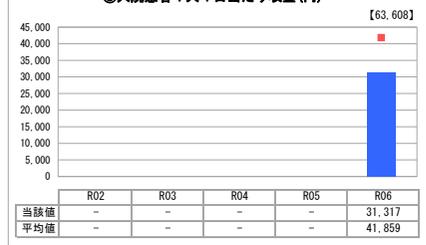
③修正医療収支比率（%）



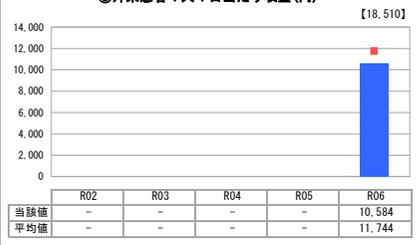
④病床利用率（%）



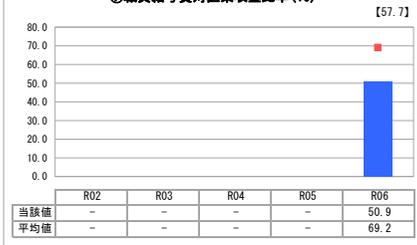
⑤入院患者1人1日当たり収益（円）



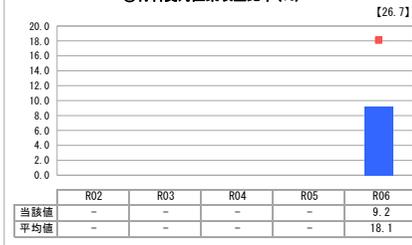
⑥外来患者1人1日当たり収益（円）



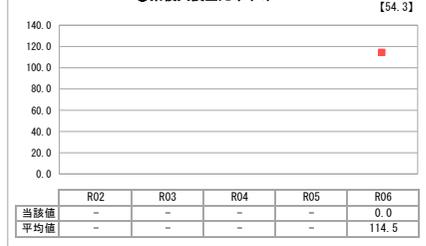
⑦職員給与費対医療収益比率（%）



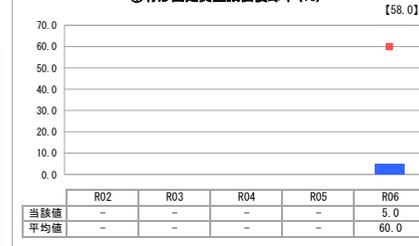
⑧材料費対医療収益比率（%）



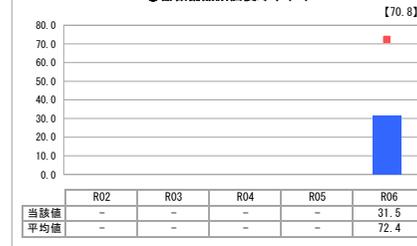
⑨累積欠損金比率（%）



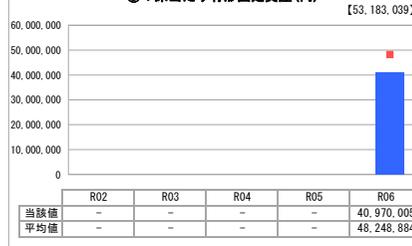
①有形固定資産減価償却率（%）



②器械備品減価償却率（%）



③1床当たり有形固定資産（円）



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

岡山県地方独立行政法人玉野医療センター 玉野三井病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	8	-	-	教 諭
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	7,520	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	-
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
41	44	85

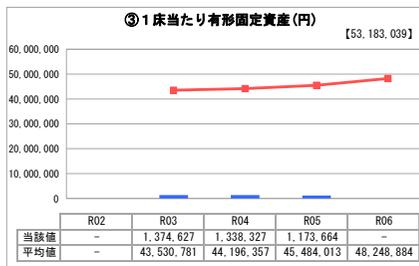
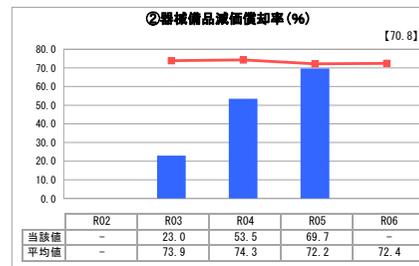
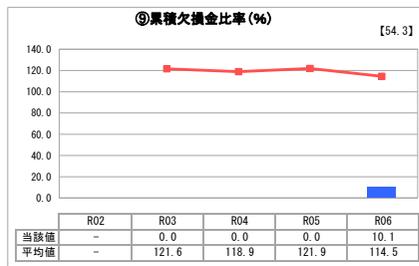
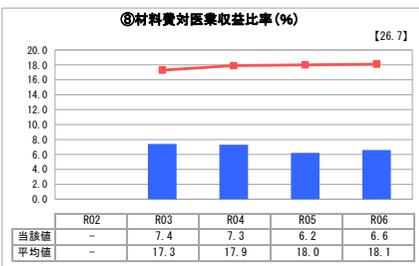
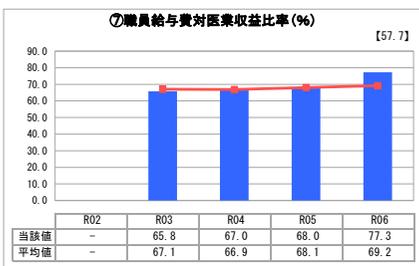
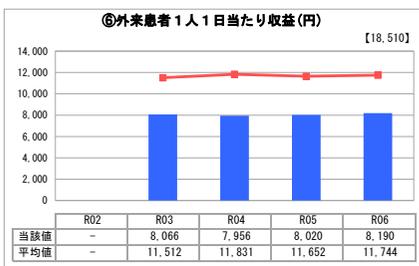
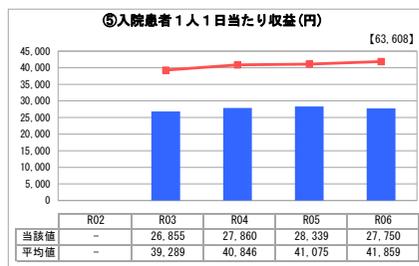
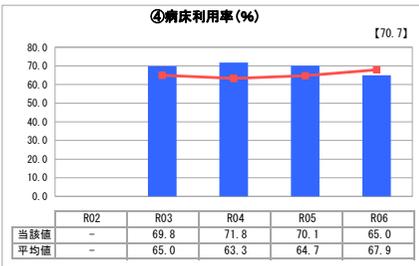
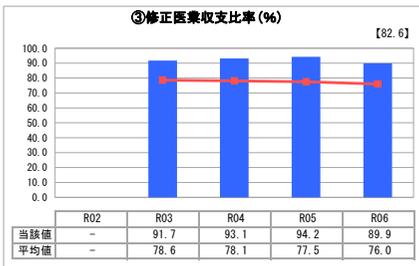
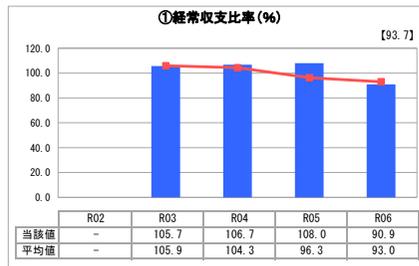
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の病院・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### 1. 経営の健全性・効率性



### 2. 老朽化の状況

### I 地域において担っている役割

令和3年度に地方独立行政法人制度の下、玉野市民病院と経営統合し、1法人2病院による経営統合を行っている。当院では特に救急医療と長期療養を担い、地域急性期及び慢性期を中心に地域における中核医療機関の役割を担っている。また、訪問診療を積極的に行い、来院することが困難な方に対して在宅での療養環境を提供する役割も担っている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

収入面では、長期療養を主とした医療提供体制であるため、入院・外来ともに単価が平均値を下回る結果となっている。費用面では、新病院への移転に伴って患者の受け入れを制限したことから収益が減少し給与費比率が悪化しているものの、材料費比率は、2病院による医療材料の共同購入などの取り組みにより、平均値を下回っており、一定の経費抑制が進んでいる状況となっている。

#### 2. 老朽化の状況について

地方独立行政法人への移行に際して固定資産の再評価が行われたことにより令和3年度の償却率は平均値を大きく下回っているが、建物の建築年数が80年以上経過し、施設の老朽化が進んでいる状況である。また、令和7年1月には2病院を集約する形で、新病院が開院したところであり、令和6年12月31日をもって当院は閉院となっている。

### 全体総括

令和7年1月の新病院への移転・開院に向けて、入院・外来患者の受け入れを制限したことなどが影響し、経常収支比率、医療収支比率は前年度を大きく下回った。一方で地方独立行政法人化のメリットを最大限発揮し、断らない医療の実践と地域包括ケアシステムの実現を目指し、地域の医療機関との連携を推進し、紹介・逆紹介、CT・MRI検査に取り組んだことで、地域医療連携において一定の貢献をしている。令和7年1月に新病院が開院し、より一層経営の健全化に向けた取り組みを進めていくこととしており、安定的な経営基盤の確立に努めることとしている。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

岡山県地方独立行政法人玉野医療センター 玉野市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド	救 臨 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	10,895	非該当	非該当	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

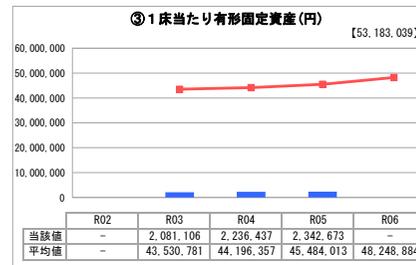
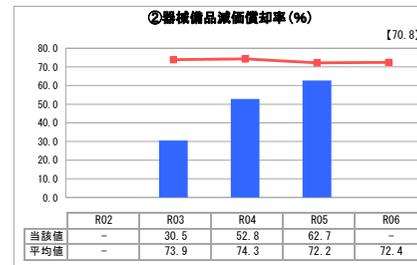
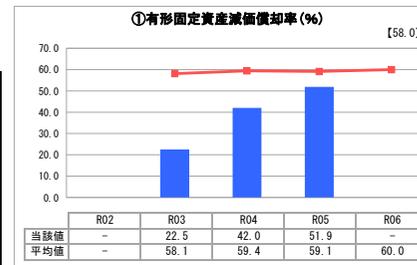
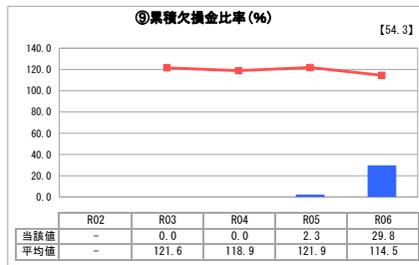
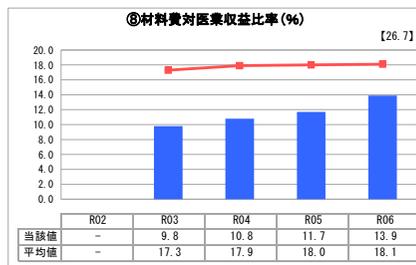
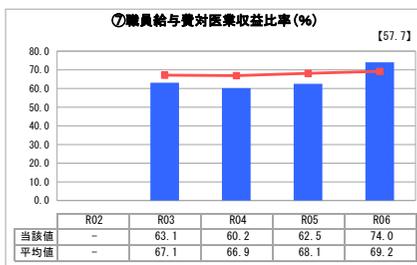
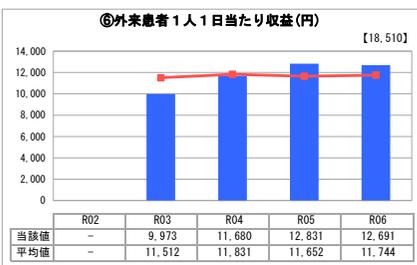
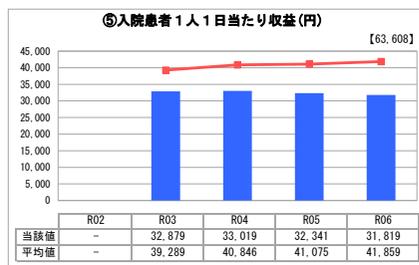
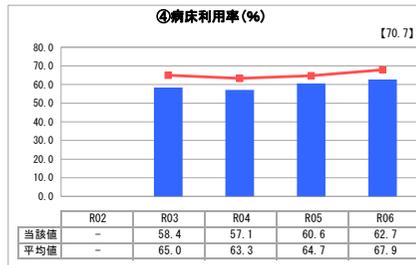
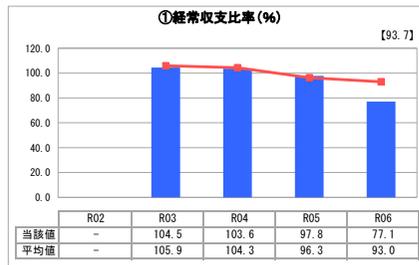
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	-
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
146	-	146

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の業務・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### I 地域において担っている役割

令和3年度に地方独立行政法人制度の下、玉野三井病院と経営統合し、1法人2病院による経営統合を行っている。  
 当院では特に救急医療や小児医療を始めとする不採算医療を担い、地域急性期及び回復期を中心に地域における中核医療機関の役割を担っている。  
 また、同一医療圏内には高度急性期機能を持った多数の病院が設置されており、高度治療を終えた方が地元に戻って安心して療養できる場所として、バックアップの役割も担っている。

### II 分析欄

#### 1. 経営の健全性・効率性について

収入面では、医療収益の柱となる入院収益の増加を目指し、病床利用率の向上に取り組んだ結果、前年度と比較して増加したが、入院患者1人1日当たり収益は微減となった。  
 費用面では、材料費対医療収益比率が平均値を下回るなど、一定の経費抑制が進んでいる状況となっている。

#### 2. 老朽化の状況について

地方独立行政法人への移行に際して固定資産の再評価が行われたことにより令和3年度の償却率は平均値を大きく下回っているが、建物の建築年数が50年以上経過し、施設の老朽化が進んでいる状況である。  
 また、令和7年1月には2病院を集約する形で、新病院が開院したところであり、令和6年12月31日をもって当院は閉院となっている。

### 全体総括

令和7年1月の新病院への移転・開院に向けて、入院・外来患者の受け入れを制限したことなどが影響し、経常収支比率、医療収支比率は前年度を大きく下回った。  
 一方で、地域における中核病院として、また公的病院としての役割を果たすため、救急医療受入の強化や地域の医療機関との患者の紹介・逆紹介を積極的に推進したこと、病床利用率は前年度を上回った。  
 令和7年1月に新病院が開院し、より一層経営の健全化に向けた取り組みを進めていくこととしており、安定的な経営基盤の確立に努めることとしている。

※1「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。